第４章　都市計画ＧＩＳのメタデータ

４-１ 概要

メタデータ（標準様式）は、空間データ（地理情報）の所在・内容・品質・利用条件等を記述したデータを指し、データ整備における二重投資の回避とデータ相互利用を進める鍵として位置付けられ、空間データ本体とは別個に作成される「情報を利用するために必要な情報」である。

地理情報の利用者である第三者がこのメタデータを調べ、その地理情報が利用できるかどうかを判断するため、メタデータには「どこに、どんな形で地理情報が存在して、どうすれば利用できるか」等の利用者にとって必要かつ十分な情報が、共通の様式で記述されている必要がある。

「地理情報標準　第1版」におけるメタデータは、４００前後のメタデータ要素が定義されているが、そのほとんどがオプション項目となっている。

本章では、これらのメタデータ要素のうち適合性レベル１に相当するメタデータ要素を対象に、都市計画ＧＩＳのデータにとっての有用性を考慮し、都市計画ＧＩＳのメタデータとしての要求度の設定を行った。また、都市計画実務者がメタデータを容易に作成できるように具体的な記述例をとりまとめた。

（ア） 都市計画ＧＩＳのメタデータ要求度の設定

都市計画ＧＩＳのメタデータ要素としての要求度を設定するにあたっては、「地理情報標準　第1版」との整合を図る必要がある。このことから、「地理情報標準　第1版」における要求度が「必須」とされているメタデータ要素は、都市計画ＧＩＳのメタデータ要素においても要求度を「必須」として設定した。また、「地理情報標準　第1版」において、「条件付き」又は「オプション」とされているメタデータ要素については、都市計画情報の利用者にとっての有用性を考慮し、適宜要求度の設定を行った。

（イ） 記述例の作成

都市計画に関する記述を類型化し、その標準記述を確定した。あわせて、空間データの専門的知識を有しない都市計画業務の実務者でも、都市計画情報に関するメタデータの記述が容易に記述可能となるよう、記述例を作成した。

（1） メタデータの適合性レベル

「地理情報標準　第1版」におけるメタデータの内容は、適合性レベル1及び適合性レベル2に大別される。

適合性レベル1は、空間データの概要把握や検索を目的としたもので、クリアリングハウス*1での利用に最低限必要な内容で構成されている。また、適合性レベル2は、完全にデータの記録が必要な場合に必要に応じて作成・利用するものであり、空間データの完全な説明のために必要な項目が完備されている。本章においては、適合性レベル1に該当する計60項目のメタデータ要素を対象とした。

（*1）クリアリングハウス（clearinghouse）：
空間データの生産者、管理者及び利用者を電子的に結び付ける分散型情報ネットワーク

都市計画ＧＩＳデータにおけるメタデータの適合性レベル

適合性レベル	要求度	内容
適合性レベル1	必須	データのカタログ作成及びデータを発見するために設けられるクリアリングハウスの活動を支援するためだけに使われるものであり、実際のデータを識別するための最低限の要素で構成される。
適合性レベル2	必要に応じて作成	データの識別、評価、抽出、採用及び地理情報管理のために必要な項目が完備されており、完全にデータの記録が必要な場合に使用する。

（2） メタデータの作成時の注意点

メタデータには「どこに、どんな形で地理情報が存在して、どうすれば利用できるか」等の利用者にとって必要かつ十分な情報が、共通の様式で記述されている必要がある。以下にメタデータを作成する際に、注意をしなければならない事項を示す。

（ア） メタデータ要素名称

メタデータ要素名称は、その要素に該当する内容が存在しなくても、必ず名称は記述しておく必要がある。また、大項目、中分類に該当するメタデータ要素は、内容を記述する必要はなく、メタデータ要素名称のみを記述する。

（イ） メタデータ要素のデータ型

メタデータのデータ型には、文字列・整数・実数・日付などがあるが、文字列については全角で表記し、整数・実数・日付など数字を記入する箇所は半角で表記する。また文字列中に「・」は一般的な日本語表現の中では使用してよいが、英語由来の用語において単語の区切りを表す記号としては用いない。

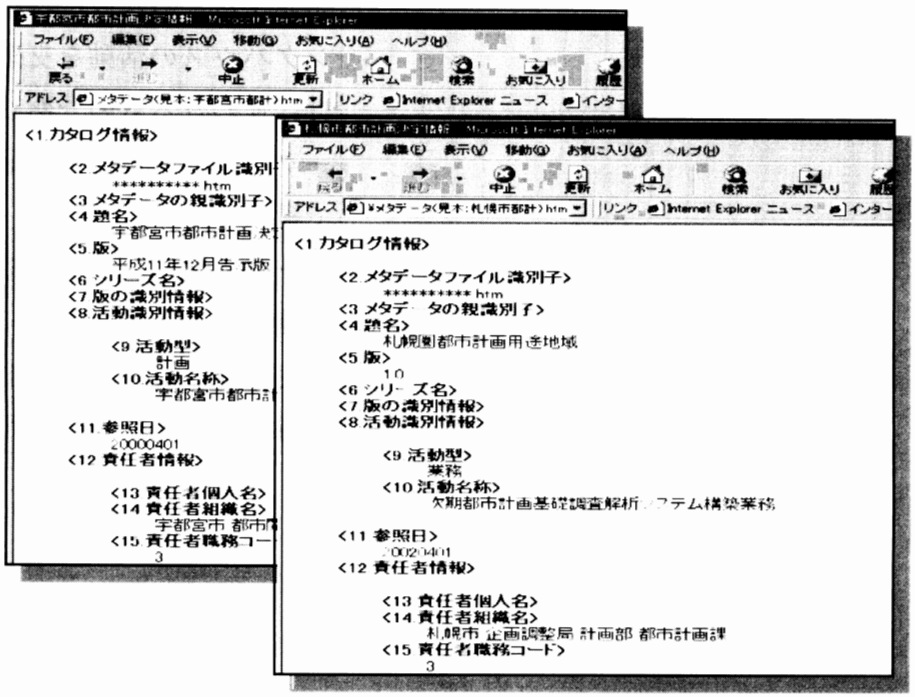
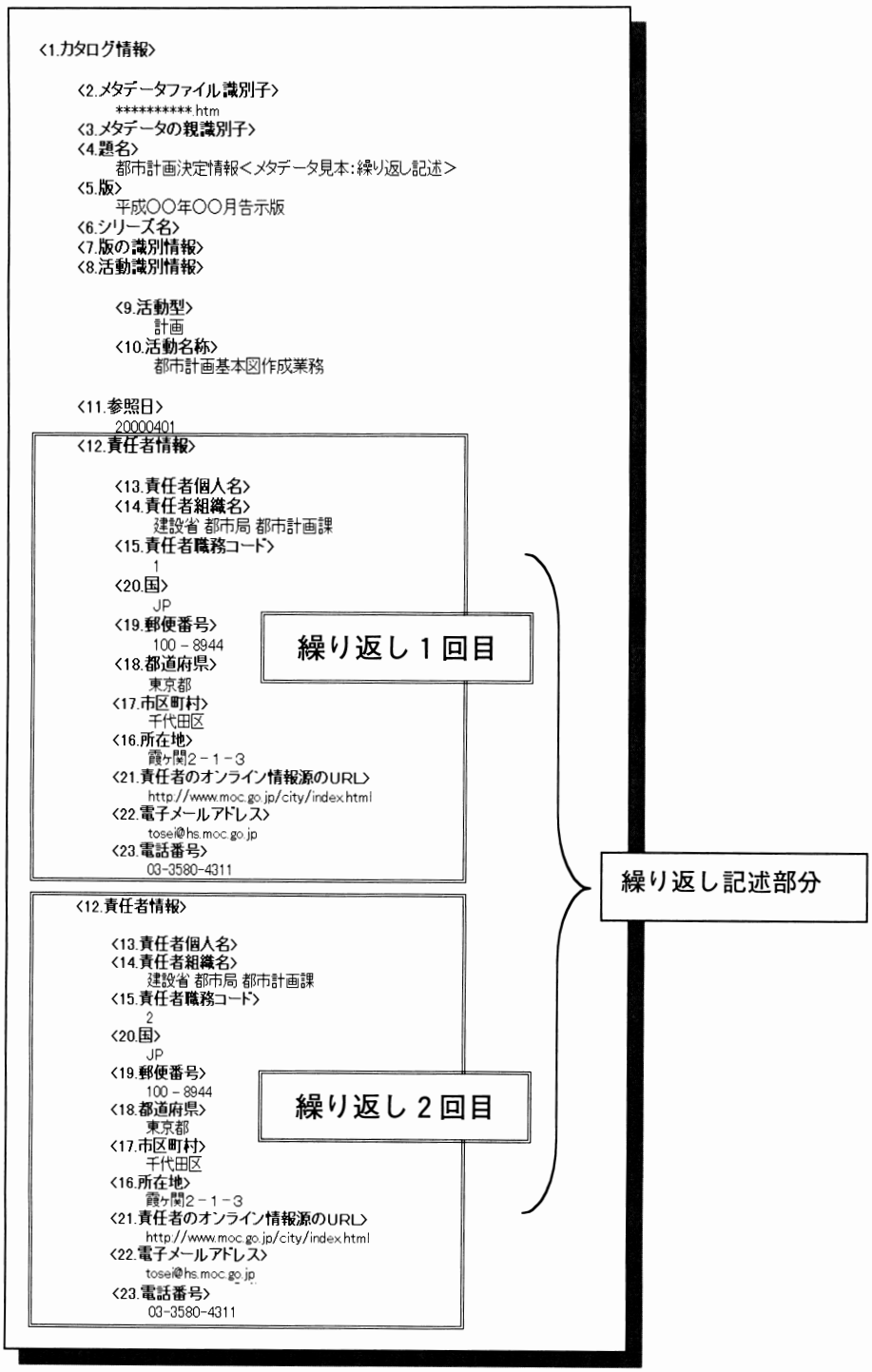


図　メタデータ作成例

（ウ） メタデータ要素の最大記述回数

メタデータ要素には、責任者情報など複数の情報を記述することが必要となるものについては、繰り返し記述を行えるようにしている。繰り返し記述を行えるか否かについては、メタデータ要素属性の「最大記述回数」を参照することが必要である。「4-4　メタデータ要素」において、1回のみの記述の場合は「最大記述回数」を「1」、繰り返し記述が許されるときは「N」によって示している。記載方法については、以下に例示を示す。

メタデータ要素の繰り返し記述例



4 - 2 項目の説明

（1） メタデータ要素一覧表

「4 - 3 メタデータ要素一覧表」において、個々のメタデータ要素の概要を示した。大項目・中項目・メタデータ要素名称、定義、データ型、識別子については、「地理情報標準第1版」に準じている。

本一覧表においては、都市計画情報のメタデータ要素の要求度が明確に把握できるよう「要求度」の欄を設けるとともに要求度が「必須」な項目については、欄内の濃淡及び文字の強調で示した。

以下に一覧表内の各項目の説明を記載する。

①大項目、中項目及びメタデータ要素名称

大項目は、メタデータの一部であり、相互に関連する内容をもつ中項目ないしメタデータ要素の集合である。適合性レベル1における大項目は、「1.カタログ情報」のみが該当する。中項目は、メタデータ大項目の一部であり、相互に関連する内容をもつメタデータ要素の集合である。メタデータ要素は、メタデータを構成する情報の単位であり、大項目ないし中項目に含まれる。

なお、繰り返し記述を行えるメタデータ要素（複数記述可）については、メタデータ要素名称に続け（N）の記号を示した。

②定義

各々のメタデータ要素の意味（概略）を記載した。

③データ型

メタデータ要素を表現する際の種類である。例としては、文字列、整数、実数、日付、などである。

④識別子

メタデータ要素、中項目を独自に[*1]識別するコード番号である。

なお、適合性レベル1の大項目には識別子は無い。

[*1]独自に：ダブりの無い。ユニークな。

⑤要求度

都市計画ＧＩＳのメタデータとして設定した要求度である。

必須（M）	：必ず選択する項目
条件付（C）	：条件と合致する場合は必ず選択する項目
オプション（O）	：選択してもよいし、しなくても良い項目

なお、都市計画ＧＩＳのメタデータに必要が無い要素は『－（ﾊｲﾌｫﾝ）』を記入している。

（２） メタデータ要素

「４-４メタデータ要素」において、個々のメタデータ要素の内容を例示をまじえ、詳細に記述した。大項目・中項目・メタデータ要素名称、定義、最大記述回数、変域、データ型及び具体内容については、「地理情報標準　第１版」に準じている。
以下に各項目の説明を記載する。

①整理番号（NO）及び都市計画ＧＩＳデータ要求度

都市計画ＧＩＳのメタデータとして設定した要求度であり、「４-３メタデータ要素一覧表」に示す「要求度」である。また、併せて識別子のコード番号も記載した。

必須（M）	：必ず選択する項目
条件付（C）	：条件と合致する場合は必ず選択する項目
オプション（O）	：選択してもよいし、しなくても良い項目

なお、都市計画ＧＩＳのメタデータに必要が無い要素は『－（ﾊｲﾌｫﾝ）』を記入している。

②大項目・中項目・メタデータ要素名称

メタデータスキーマ（メタデータ要素の構成）が明確に把握できるよう、大項目名称及び中項目名称と併せて、各メタデータ要素の名称を記載した。

③定義

各々のメタデータ要素の意味（概略）を記載した。

④最大記述回数

繰り返し記述を行えるか否かを示すものであり、１回のみの記述の場合は「１」を、繰り返し記述が許されるときは「Ｎ」によって示した。

⑤変域（値の候補または範囲）

各々のメタデータ要素について、取り得る値の候補または範囲を示した。コード化された要素などはこれに該当する。「自由記述」の場合は特に制約がないことを示す。

⑥具体内容

各々のメタデータ要素について、適応する具体的な内容を記述した。

⑦記述方法

各々のメタデータ要素について、都市計画ＧＩＳデータにおける標準的/具体的な記述例を用いて示した。この内容は、あくまでもサンプルである。他の要素を包括するメタデータ要素（大項目及び中項目）については、メタデータ要素名称のみの記載となるため、記述方法の例示は無い。

4-3 メタデータ要素一覧表

都市計画情報メタデータ要素一覧表

大項目名　(N:複数記述可) 中項目 メタデータ要素	定義	データ型	識別子	要求度
1 カタログ情報	**データセット*1を識別する情報（大項目）**	—		M
2 メタデータファイル識別子	メタデータの識別子	文字列	80.01	O
3 メタデータの親識別子	親メタデータの識別子	文字列	80.02	O
4 題名	**データセットの名称**	文字列	10.08.01	M
5 版	**版、バージョン**	文字列	10.08.06	M
6 シリーズ名	データセットが含まれるシリーズ出版物名称	文字列	10.08.10	O
7 版の識別情報	シリーズ出版物の識別情報	文字列	10.08.11	O
8 活動識別情報（N）	**データセット作成の元をなす活動（中項目）**	—	10.09	M
9 活動型	**活動の種類**	文字列	10.09.01	M
10 活動名称	**活動の名称**	文字列	10.09.02	M
11 参照日	**データセットの出版日、データの利用可能となった日**	日付	10.08.04	M
12 責任者情報（N）	**責任者の情報（中項目）**	—	10.08.03	M
13 責任者個人名	**個人名**	文字列	10.08.03.01	－*2
14 責任者組織名	**組織名**	文字列	10.08.03.02	M
15 責任者職務コード	**職務の区分コード**	整数	10.08.03.04	M
20 国	**国を識別する文字列**	文字列	10.08.03.05.05	M
19 郵便番号	**郵便番号**	文字列	10.08.03.05.04	M
18 都道府県	**都道府県名**	文字列	10.08.03.05.03	M
17 市区町村	**市区町村名**	文字列	10.08.03.05.02	M
16 所在地（N）	**所在地名**	文字列	10.08.03.05.01	M
21 オンライン情報源のURL（N）	情報源にアクセスするためのURL	文字列	10.08.03.05.10.01	O
22 電子メールアドレス(N)	問い合わせ先電子メールアドレス	文字列	10.08.03.05.09	O
23 電話番号（N）	**問い合わせ先電話番号**	文字列	10.08.03.05.06	M

*網掛けは、都市計画ＧＩＳのメタデータの要求度が「必須(M)」のものを示す。

＜都市計画情報メタデータ要素一覧表　つづき＞

大項目名　(N:複数記述可) 中項目 メタデータ要素	定義	データ型	識別子	要求度
24 データセットの範囲（N）	**データセットがカバーする範囲（中項目）**	—	10.12	M
25 地表の範囲-座標	経緯度で表した範囲（中項目）	—	10.12.01	— ※3
26 西側境界座標	範囲の最西端の経度	実数	10.12.01.01	— ※3
27 東側境界座標	範囲の最東端の経度	実数	10.12.01.02	— ※3
28 北側境界座標	範囲の最北端の緯度	実数	10.12.01.03	— ※3
29 南側境界座標	範囲の最南端の緯度	実数	10.12.01.04	— ※3
30 地表の範囲-名称	**名称で表した範囲**	文字列	10.12.02.01	M
31 地表の範囲名称参照	**範囲名称の内容を表してある参照物**	文字列	10.12.02.02	M
32 時間的範囲の日時	**データセットの内容についての日時**	日付	10.12.03.03.01	M
33 最小標高値	データセット中の最小標高値	整数	10.12.03.02.02	O
34 最大標高値	データセット中の最大標高値	整数	10.12.03.02.03	O
35 解像度コード（N）	**データの密度を表す情報**	整数	10.13	M
36 データセット言語コード（N）	**データセットの言語コード**	文字列	10.01	M
37 データセットの文字符号集合	データセットの文字コード	文字列	10.02	C
38 要約	**データセットの簡潔な要約**	文字列	10.03	M
39 目的	**データセットの作成目的**	文字列	10.04	M
40 進捗状況コード	**データセットの作成状況コード**	整数	10.11.01	M
41 分類	**データセットの内容の分類（中項目）**	—	10.14	M
42 主題コード（N）	**データセットの主題コード**	整数	10.14.01	M
43 キーワード情報（N）	キーワードの情報（中項目）	—	10.14.02	O
44 キーワード	データセットの内容のキーワード	文字列	10.14.02.01	O
45 キーワードタイプコード	キーワードの区分コード	整数	10.14.02.02	O
46 キーワードのシソーラス名	キーワードの説明文等	文字列	10.14.02.03	O
47 アクセスの制約	データセットへのアクセスの制約	文字列	10.18.02.01	O
48 使用の制約	**データセットの使用の制約**	文字列	10.18.02.02	M
49 系譜の補足情報	**系譜に関する他の情報**	文字列	30.02.04.01	M
50 定性的な叙述報告	**定性的な品質情報の説明**	文字列	20.01.04.02.01	M
51 空間表現型コード(N)	**データのタイプ**	整数	40.01	M
52 空間参照系型	**位置を表す方法**	整数	50.02.01	M
53 配布データ識別子(N)	配布者のための識別情報	文字列	70.01.02	O
54 フォーマット名(N)	**配布データのフォーマット名**	文字列	70.02.01	M

*網掛けは、都市計画ＧＩＳのメタデータの要求度が「必須(M)」のものを示す。

＜都市計画情報メタデータ要素一覧表　つづき＞

大項目名　(N:複数記述可) 中項目 メタデータ要素	定義	データ型	識別子	要求度
55 配布に使用するメディア (N)	配布データを格納する媒体	文字列	70.02.10.02	O
56 配布データのオンライン情報源のURL (N)	配布データに関するＵＲＬ	文字列	70.02.10.05.01	O
57 適合レベルのコード	**メタデータのレベル**	**整数**	**80.06.03**	**M**
58 メタデータコードの言語	**メタデータの言語コード**	**文字列**	**80.08.01**	**M**
59 メタデータ文字コードセット	メタデータの文字コード	文字列	80.08.02	C
60 メタデータの日付	**メタデータの作成（更新）日**	**日付**	**80.04.01**	**C**

*網掛けは、都市計画ＧＩＳのメタデータの要求度が「必須(M)」のものを示す。

※1 **データセット**：他と識別可能な、データの集まり。一定の空間的な範囲などによってひとつのデータセットが形成されることが多い。

※2 **要求度欄『－（ﾊｲﾌｫﾝ)』**：「地理情報標準」においてメタデータ要素の要求度が「条件付き(C)」であり、条件により「13 責任者個人名」と「14 責任者組織名」のいずれかを選択することになる。都市計画GISのメタデータの場合は「14 責任者組織名」を必須としたことにより、「13 責任者個人名」の記述は不要となることを意味する。

※3 **要求度欄『－（ﾊｲﾌｫﾝ)』**：「地理情報標準」においてメタデータ要素の要求度が「条件付き(C)」であり、条件により「25 地表の範囲-座標」と「30 地表の範囲-名称」のいずれかを選択することになる。都市計画GISのメタデータの場合は、「30 地表の範囲-名称」を必須としたため、「25　地表の範囲・座標」～「29　南側境界座標」の記述は不要となる。

4-4 メタデータ要素

（1）メタデータ要素

「４－４　メタデータ要素」参照

（2） メタデータ要素

都市計画情報のメタデータ完成イメージを以下に示す。但し、例に挙げた2都市のメタデータの内容は、現在検討中のものであり詳細に検討し最終決定されたものではない。あくまでも一例である。

札幌市都市計画情報メタデータ＜例1＞

〈1.カタログ情報〉

〈2.メタデータファイル識別子〉
**********.htm
〈3.メタデータの親識別子〉
〈4.題名〉
札幌圏都市計画用途地域
〈5.版〉
1.0
〈6.シリーズ名〉
〈7.版の識別情報〉
〈8.活動識別情報〉

〈9.活動型〉
業務
〈10.活動名称〉
次期都市計画基礎調査解析システム構築業務

〈11.参照日〉
20020401
〈12.責任者情報〉

〈13.責任者個人名〉
〈14.責任者組織名〉
札幌市 企画調整局 計画部 都市計画課
〈15.責任者職務コード〉
3
〈20.国〉
JP
〈19.郵便番号〉
060-8611
〈18.都道府県〉
北海道
〈17.市区町村〉
札幌市
〈16.所在地〉
中央区北1条西2丁目
〈21.責任者のオンライン情報源のURL〉
〈22.電子メールアドレス〉
〈23.電話番号〉
011-211-2506

〈24.データセットの範囲〉

〈25.座標による地表の範囲〉

〈26.西側境界座標〉
〈27.東側境界座標〉
〈28.北側境界座標〉
〈29.南側境界座標〉

〈30.地表の範囲名称〉
札幌市(市街化区域及び市街化調整区域の一部)
〈31.地表の範囲名称参照〉
国土基本図図郭割
〈32.時間的範囲の日時〉
20010331
〈33.最小標高値〉
〈34.最大標高値〉

〈35.解像度コード〉
6
〈36.データセット言語コード〉
ja
〈37.データセットの文字符号集合〉
Shift_jis
〈38.要約〉
札幌圏都市計画用途地域(札幌市分)を，札幌市現況図DMデータと重なるように
ベクトル形式で数値化したものである。
〈39.目的〉
札幌市地理情報システム(GIS)の共有データベースとして作成された成果をシステムに
格納するものである。
〈40.進捗状況コード〉
2
〈41.分類〉

〈42.主題コード〉
16
〈43.キーワード情報〉

〈44.キーワード〉
〈45.キーワードのタイプコード〉
〈46.キーワードのシソーラス名〉

〈47.アクセスの制約〉
特になし
〈48.使用の制約〉
札幌市各部局GISでの利用を原則とする。
〈49.系譜の補足説明〉
平成10年3月31日に告示された札幌圏都市計画用途地域の変更の計画図を基に
作成している。
〈50.定性的な叙述報告〉
都市計画情報の品質クラスA－3に該当する。品質検査を全て実施し適合した。
〈51.空間表現型コード〉
2
〈52.空間参照系型〉
2
〈53.配布データ識別子〉
〈54.フォーマット名〉
札幌市空間データフォーマット(札幌市独自形式)
〈55.配布に使用するメディア〉
CD-ROM
〈55.配布に使用するメディア〉
MO
〈56.配布データのオンライン情報源のURL〉
〈57.適合レベルのコード〉
1
〈58.メタデータの言語コード〉
ja
〈59.メタデータの文字コードセット〉
Shift-jis
〈60.メタデータの日付〉
20003013

宇都宮市都市計画情報メタデータ＜例２＞

<1.カタログ情報>

<2.メタデータファイル識別子>
**********.htm
<3.メタデータの親識別子>
<4.題名>
宇都宮市都市計画決定情報
<5.版>
平成11年12月告示版
<6.シリーズ名>
<7.版の識別情報>
<8.活動識別情報>

<9.活動型>
計画
<10.活動名称>
宇都宮市都市計画基本図作成業務

<11.参照日>
20000401
<12.責任者情報>

<13.責任者個人名>
<14.責任者組織名>
宇都宮市 都市開発部 都市計画課
<15.責任者職務コード>
3
<20.国>
JP
<19.郵便番号>
320－8540
<18.都道府県>
栃木県
<19.郵便番号>
320－8540
<18.都道府県>
栃木県
<17.市区町村>
宇都宮市
<16.所在地>
旭1丁目1番5号
<21.責任者のオンライン情報源のURL>
http://www.city.utsunomiya.tochigi.jp/plaza/index.html
<22.電子メールアドレス>
u1201@city.utsunomiya.tochigi.jp
<23.電話番号>
028-632-2565

<24.データセットの範囲>

<25.座標による地表の範囲>

<26.西側境界座標>
<27.東側境界座標>
<28.北側境界座標>
<29.南側境界座標>

<30.地表の範囲名称>
宇都宮市都市計画区域全域
<31.地表の範囲名称参照>
―(市全域のため特に記載なし)
<32.時間的範囲の日時>
20000310
<33.最小標高値>
<34.最大標高値>

<35.解像度コード>
6
<36.データセット言語コード>
ja
<37.データセットの文字符号集合>
Shift_jis

<38.要約>
宇都宮市都市計画道路図を基に、以下の要素をデジタイザを用いて数値化したデータ
(注記以外は全てポリゴン(面)図形とし属性を付加)。
・用途地域
(属性:建蔽率・容積率・用途種別)
・防火、準防火地域・都市計画道路
(属性:都決番号、路線名称、代表幅員)
・都市計画道路に付属する取得項目
(道路中心線・幅員・カーブ回転半径・路線の起終点)
・風致地区
(属性:名称・面積・都決年月日・建蔽率・建物の高さ(制限))
・地区計画区域
(属性:名称・位置・都決年月日・面積・概要・施設・建築物に関する事項)
・土地区画整理事業地区
(属性:名称・施工年度・面積・許認可年月日・換地処分年月日・総事業費・都決年月日)
・都市計画公園
(属性:名称・位置・面積・決定年月日)
・その他、処理場・ポンプ場・火葬場・墓園・と畜場・ごみ焼却場等
・注記
(用途名称・都市計画道路名称・カーブ回転半径注記)
また、数値化したデータを地形のDM(最新版)と整合性を取りながら作成したデータ。
<39.目的>
都市計画及びその他諸計画の基礎資料として宇都宮市域の状況を把握するために整備した。
また、平成9年度より整備しているディジタルマッピング手法によるディジタル地形情報を
より有効に活用し、高度な情報処理と情報の共有化を行うために、庁内LANを活用して、
他部署へディジタル地形情報を普及することを目的とする。
<40.進捗状況コード>
1
<41.分類>

<42.主題コード>
16
<43.キーワード情報>

<44.キーワード>
<45.キーワードのタイプコード>
<46.キーワードのシソーラス名>

<47.アクセスの制約>
特になし
<48.使用の制約>
詳細な確認は、必ず都市計画課窓口にて行うこと。営利目的の使用は禁止する。
<49.系譜の補足説明>
宇都宮市都市計画道路計画図(縮尺:1/2,500)、道路台帳付図、公園台帳図、その他、
宇都宮市職員が作成した地区計画区域、土地区画整理区域等を示した1/2,500レベルの詳細図を
基に作成
<50.定性的な叙述報告>
都市計画情報の品質クラスA－3に該当する。品質検査を全て実施し適合した。
<51.空間表現型コード>
2
<52.空間参照系型>
2
<53.配布データ識別子>
<54.フォーマット名>
ARC/INFOカバレッジ(Ver7以上)
<54.フォーマット名>
Shapeファイル
<55.配布に使用するメディア>
未定
<56.配布データのオンライン情報源のURL>
<57.適合レベルのコード>
1
<58.メタデータの言語コード>
ja
<59.メタデータの文字コードセット>
Shift-jis
<60.メタデータの日付>
20000615

4-4 メタデータ要素

No. 1	都市計画GISデータ要求度： M	識別子： —
大項目名称	カタログ情報	
中項目名称	—	
メタデータ要素名称	カタログ情報	
	catalogue	

定義	データセットを識別する情報（大項目）	最大記述回数	1
変域（値の候補または範囲）	No 2-61を包括	データ型	—
具体内容	メタデータの様式を統括するため、メタデータ要素№2～№60を包括する大項目である。メタデータの内容を記入する際は、この項目だけで無く全てのメタデータ項目を必ず記載しておく必要がある。		
記述方法	※メタデータ要素名称は、内容が無くても必ず記入すること。 「1.カタログ情報」 ※この要素は、他の要素を包括する項目であるため、特に例示は無い。		

No. 2	都市計画GISデータ要求度： O	識別子： 80.01
大項目名称	カタログ情報	
中項目名称	—	
メタデータ要素名称	メタデータファイル識別子	
	meta_file_id	

定義	メタデータの識別子	最大記述回数	1
変域（値の候補または範囲）	自由記述	データ型	文字列
具体内容	このメタデータのための一意な識別子を記載する。例えば、各データを違いに区別するために、『***2500***01.htm』や『***2500***02.htm』の様な規則性をもった名称であると判断し易い。		
記述方法	※メタデータ要素名称は、内容が無くても必ず記入すること。 「2.メタデータファイル識別子」 例1 Utsu2500CP.htm ※ここでは、以下のルールでファイル識別名を決めている。 <Utsu：宇都宮、2500：縮尺 、CP：都市計画（CityPlaning）>		

No. 3	都市計画GISデータ要求度： O		識別子： 80.02
大項目名称	カタログ情報		
中項目名称	—		
メタデータ要素名称	メタデータの親識別子		
	meta_parent_id		
定義	親メタデータの識別子	最大記述回数	1
変域（値の候補または範囲）	自由記述	データ型	文字列
具体内容	親となるメタデータの一意な識別子を記載する。例えばメタデータ要素』2の具体内容例を引用すると『***2500.htm』などである。		
記述方法	※メタデータ要素名称は、内容が無くても必ず記入すること。 「3.メタデータの親識別子」		
例1	UtsuCP.htm ※ここでは、以下のルールでファイル識別名を決めている。 <Utsu：宇都宮、CP：都市計画（CityPlaning）>		

No. 4	都市計画GISデータ要求度： M		識別子： 10.08.01
大項目名称	カタログ情報		
中項目名称	—		
メタデータ要素名称	題名		
	title		
定義	データセットの名称	最大記述回数	1
変域（値の候補または範囲）	自由記述	データ型	文字列
具体内容	データを識別するためのデータの名前を記載する。データ整備の総称を引用することが多い。例えば『数値地図2500（空間データ基盤）東京－5』など。		
記述方法	※メタデータ要素名称は、内容が無くても必ず記入すること。 「4.題名」		
例1	宇都宮市都市計画決定情報		
例2	札幌圏都市計画用途地域		

No. 5	都市計画GISデータ要求度： M	識別子： 10.08.06
大項目名称	カタログ情報	
中項目名称	—	
メタデータ要素名称	版	
	edition	

定義	版、バージョン	最大記述回数	1
変域（値の候補または範囲）	自由記述	データ型	文字列
具体内容	データの更新情報示す情報を記載する。またはタイトル化されたデータのバージョン『第～版』など。都市計画情報の場合、データの時点や告示時日を使用することが望ましい。		
記述方法	※メタデータ要素名称は、内容が無くても必ず記入すること。 「5.版」		
例1	※ここでは、都市計画の告示年月を利用している場合と、バージョンを示す方法と2通り掲載。平成11年12月告示版		
例2	1.0		

No. 6	都市計画GISデータ要求度： O	識別子： 10.08.10
大項目名称	カタログ情報	
中項目名称	—	
メタデータ要素名称	シリーズ名	
	series	

定義	データセットが含まれるシリーズ出版物名称	最大記述回数	1
変域（値の候補または範囲）	自由記述	データ型	文字列
具体内容	データの基になる出版物のシリーズ名称を記載する。例えばメタデータ要素№4の具体内容の例を引用すると『数値地図2500（空間データ基盤）』など。		
記述方法	※メタデータ要素名称は、内容が無くても必ず記入すること。 「6.シリーズ名」		
例1	宇都宮市都市計画道路図		
例2	特になし		

No. 7	都市計画GISデータ要求度： O		識別子： 10.08.11
大項目名称	カタログ情報		
中項目名称	—		
メタデータ要素名称	版の識別情報		
	issue_id		
定義	シリーズ出版物の識別情報	最大記述回数	1
変域（値の候補または範囲）	自由記述	データ型	文字列
具体内容	データの基になるシリーズ出版物の識別情報を記載する。		
記述方法	※メタデータ要素名称は、内容が無くても必ず記入すること。 「7.版の識別情報」 例1 図面 例2 特になし		

No. 8	都市計画GISデータ要求度： M		識別子： 10.09
大項目名称	カタログ情報		
中項目名称	活動識別情報		
メタデータ要素名称	活動識別情報		
	initiative		
定義	データセット作成の元をなす活動（中項目）	最大記述回数	N
変域（値の候補または範囲）	No9-10を包括	データ型	—
具体内容	データをまとめる作業もしくは生産する基となった事の始めの行動をまとめる中項目である。メタデータ要素№9～№10を包括する。		
記述方法	※メタデータ要素名称は、内容が無くても必ず記入すること。 「8.活動識別情報」 ※この要素は、他の要素を包括する項目であるため、特に例示は無い。		

No. 9	都市計画GISデータ要求度： M	識別子： 10.09.01
大項目名称	カタログ情報	
中項目名称	活動識別情報	
メタデータ要素名称	活動型	
	init_type	
定義	活動の種類	最大記述回数 1
変域（値の候補または範囲）	自由記述	データ型 文字列
具体内容	事はじめの行動の種類を記載する。例えば『任務』『研究』『計画』『事業』『練習』『仕事』『作戦行動』『過程』『作業』『綱領』『調査』『試験』『実験』など。	
記述方法	※メタデータ要素名称は、内容が無くても必ず記入すること。 「9.活動型」	
例1	計画	
例2	業務	

No. 10	都市計画GISデータ要求度： M	識別子： 10.09.02
大項目名称	カタログ情報	
中項目名称	活動識別情報	
メタデータ要素名称	活動名称	
	init_name	
定義	活動の名称	最大記述回数 1
変域（値の候補または範囲）	自由記述	データ型 文字列
具体内容	メタデータ要素№9の総称を記載する。例えばメタデータ要素№4の具体内容例を引用すると『数値情報整備』など。	
記述方法	※メタデータ要素名称は、内容が無くても必ず記入すること。 「10.活動名称」	
例1	宇都宮市都市計画基本図作成業務	
例2	次期都市計画基礎調査解析システム構築業務	

No. 11	都市計画GISデータ要求度： M		識別子： 10.08.04
大項目名称	カタログ情報		
中項目名称	—		
メタデータ要素名称	参照日		
	refdate		
定義	データセットの出版日、データの利用可能となった日	最大記述回数	1
変域（値の候補または範囲）	ISO 15046-8を参照	データ型	日付
具体内容	データが出版された日時、もしくは他の方法により利用可能になった日時を記載する。ISO15046-8に基づき、西暦4桁、月2桁、日2桁で日付を記載する。		
記述方法	※メタデータ要素名称は、内容が無くても必ず記入すること。 「11.参照日」 例1 20000401 例2 20020401		

No. 12	都市計画GISデータ要求度： M		識別子： 10.08.03
大項目名称	カタログ情報		
中項目名称	責任者情報		
メタデータ要素名称	責任者情報		
	party		
定義	責任者の情報（中項目）	最大記述回数	N
変域（値の候補または範囲）	No13-23を包括	データ型	—
具体内容	この項目は、データについて知識を持つ責任組織、あるいは責任者役職の情報をまとめる中項目である。メタデータ要素№13～№23を包括する。		
記述方法	※メタデータ要素名称は、内容が無くても必ず記入すること。 「12.責任者情報」 ※この要素は、他の要素を包括する項目であるため、特に例示は無い。		

No. 13	都市計画GISデータ要求度：	—	識別子： 10.08.03.01
大項目名称		カタログ情報	
中項目名称		責任者情報	
メタデータ要素名称		責任者個人名	
		party_individual	

定義	個人名	最大記述回数	1
変域（値の候補または範囲）	自由記述	データ型	文字列
具体内容	データの内容について、第一に責任を持つ個人名称を記載する。		
記述方法	※メタデータ要素名称は、内容が無くても必ず記入すること。 「13.責任者個人名」		
例1	○○　太郎		

No. 14	都市計画GISデータ要求度：	M	識別子： 10.08.03.02
大項目名称		カタログ情報	
中項目名称		責任者情報	
メタデータ要素名称		責任者組織名	
		party_org	

定義	組織名	最大記述回数	1
変域（値の候補または範囲）	自由記述	データ型	文字列
具体内容	データのために集まった組織名称および部署名称を記載する。		
記述方法	※メタデータ要素名称は、内容が無くても必ず記入すること。 「14.責任者組織名」		
例1	宇都宮市 都市開発部 都市計画課		
例2	札幌市 企画調整局 計画部 都市計画課		

No. 15	都市計画GISデータ要求度： M		識別子： 10.08.03.04
大項目名称	カタログ情報		
中項目名称	責任者情報		
メタデータ要素名称	責任者職務コード		
	party_role_code		
定義	職務の区分コード	最大記述回数	1
変域（値の候補または範囲）	以下コード表有り	データ型	整数
具体内容	責任者の果たす職務を以下のコードで表現する。		
記述方法	※メタデータ要素名称は、内容が無くても必ず記入すること。		
例1	3		

変域（値の候補または範囲）		コード
	創始者	1
	発行者	2
	管理者	3
	主要調査員	4
	内容提供者	5
	処理業者	6
	代理店	7
	窓口	8
	メタデータ提供者	9

No. 16	都市計画GISデータ要求度： M		識別子： 10.08.03.05.01
大項目名称	カタログ情報		
中項目名称	責任者情報		
メタデータ要素名称	所在地		
	address		
定義	所在地名	最大記述回数	1
変域（値の候補または範囲）	自由記述	データ型	文字列
具体内容	責任者の所属する組織の所在地（町字名称及び番地）を記載する。例えば『霞ヶ関２丁目１－３』など。		
記述方法	※メタデータ要素名称は、内容が無くても必ず記入すること。 「16.所在地」		
例1	旭1丁目1番5号		
例2	北1条西2丁目		

No. 17	都市計画GISデータ要求度： M		識別子：10.08.03.05.02
大項目名称	カタログ情報		
中項目名称	責任者情報		
メタデータ要素名称	市区町村		
	city		
定義	市区町村名	最大記述回数	1
変域（値の候補または範囲）	自由記述	データ型	文字列
具体内容	責任者の所属する組織の所在地（市区町村）を記載する。例えば『千代田区』など。		
記述方法	※メタデータ要素名称は、内容が無くても必ず記入すること。 「17.市区町村」		
例1	宇都宮市		
例2	札幌市		

No. 18	都市計画GISデータ要求度： M		識別子：10.08.03.05.03
大項目名称	カタログ情報		
中項目名称	責任者情報		
メタデータ要素名称	都道府県		
	admin_area		
定義	都道府県名	最大記述回数	1
変域（値の候補または範囲）	自由記述	データ型	文字列
具体内容	責任者の所属する組織の所在地（都道府県）を記載する。例えば『東京都』など。		
記述方法	※メタデータ要素名称は、内容が無くても必ず記入すること。 「18.都道府県」		
例1	栃木県		
例2	北海道		

No. 19	都市計画GISデータ要求度： M		識別子： 10.08.03.05.04
大項目名称	カタログ情報		
中項目名称	責任者情報		
メタデータ要素名称	郵便番号		
	postal_code		
定義	郵便番号	最大記述回数	1
変域（値の候補または範囲）	自由記述	データ型	文字列
具体内容	責任者の所属する組織の所在地（郵便番号）を記載する。例えば『100-8944』など。		
記述方法	※メタデータ要素名称は、内容が無くても必ず記入すること。 「19.郵便番号」		
例1	320-8540		
例2	060-8611		

No. 20	都市計画GISデータ要求度： M		識別子： 10.08.03.05.05
大項目名称	カタログ情報		
中項目名称	責任者情報		
メタデータ要素名称	国		
	country		
定義	国を識別する文字列	最大記述回数	N
変域（値の候補または範囲）	「不明」自由な記述	データ型	文字列
具体内容	責任者の所属する組織の所在地の国名を表すコードを記載する。日本国の場合は『JP』とする。不明の場合は『不明』と記載する。		
記述方法	※メタデータ要素名称は、内容が無くても必ず記入すること。 「20.国」		
例1	JP		

No. 21	都市計画GISデータ要求度： O		識別子： 10.08.03.05.10.01
大項目名称	カタログ情報		
中項目名称	責任者情報		
メタデータ要素名称	オンライン情報源のURL		
	party_resource_url		
定義	情報源にアクセスするためのURL	最大記述回数	N
変域（値の候補または範囲）	自由記述	データ型	文字列
具体内容	ホームページ等でデータ提供している場合のURL（Uniform Resource Locater：統一された情報資源の形式と場所に関する表記法。インターネット上のアドレス）を記載する。		
記述方法	※メタデータ要素名称は、内容が無くても必ず記入すること。 「21.オンライン情報源のURL」		
例1	http://www.city.utsunomiya.tochigi.jp/plaza/index.html　※実際公開をしている訳ではない。		

No. 22	都市計画GISデータ要求度： O		識別子： 10.08.03.05.09
大項目名称	カタログ情報		
中項目名称	責任者情報		
メタデータ要素名称	電子メールアドレス		
	email		
定義	問い合わせ先電子メールアドレス	最大記述回数	N
変域（値の候補または範囲）	自由記述	データ型	文字列
具体内容	データに関してメールで問合わせを行う場合の組織または個人の電子メールアドレスを記載する。		
記述方法	※メタデータ要素名称は、内容が無くても必ず記入すること。 「22.電子メールアドレス」		
例1	u1201@city.utsunomiya.tochigi.jp		

No. 23	都市計画GISデータ要求度： M		識別子： 10.08.03.05.06
大項目名称	カタログ情報		
中項目名称	責任者情報		
メタデータ要素名称	電話番号		
	phone		
定義	問い合わせ先電話番号	最大記述回数	N
変域（値の候補または範囲）	自由記述	データ型	文字列
具体内容	データに関して電話で問合わせを行う場合の組織または個人の電話番号を記載する。		
記述方法	※メタデータ要素名称は、内容が無くても必ず記入すること。 「23.電話番号」 例1 028-632-2565 例2 011-211-2506		

No. 24	都市計画GISデータ要求度： M		識別子： 10.12
大項目名称	カタログ情報		
中項目名称	データセットの範囲		
メタデータ要素名称	データセットの範囲		
	extent		
定義	データセットがカバーする範囲（中項目）	最大記述回数	N
変域（値の候補または範囲）	No25-35を包括	データ型	—
具体内容	この項目は、データによりカバーされる水平範囲と垂直範囲および期間をまとめる中項目である。メタデータ要素No.25～No.35を包括する。		
記述方法	※メタデータ要素名称は、内容が無くても必ず記入すること。 「24.データセットの範囲」 ※この要素は、他の要素を包括する項目であるため、特に例示は無い。		

No. 25	都市計画GISデータ要求度： —		識別子： 10.12.01
大項目名称	カタログ情報		
中項目名称	地表の範囲-座標		
メタデータ要素名称	地表の範囲-座標		
	coordinates		
定義	経緯度で表した範囲（中項目）	最大記述回数	1
変域（値の候補または範囲）	No26-29を包括	データ型	—
具体内容	整備したデータの地理的な領域をまとめる中項目である。メタデータ要素No.26～No.29を包括する。		
記述方法	※メタデータ要素名称は、内容が無くても必ず記入すること。 「25.地表の範囲-座標」 ※この要素は、他の要素を包括する項目であるため、特に例示は無い。		

No. 26	都市計画GISデータ要求度： —		識別子： 10.12.01.01
大項目名称	カタログ情報		
中項目名称	地表の範囲-座標		
メタデータ要素名称	西側境界座標		
	westbc		
定義	範囲の最西端の経度	最大記述回数	1
変域（値の候補または範囲）	－180.0 <=西側境界座標 < 180.0 ただし全周をカバーする場合は、西側境界座標は－180.0となる。	データ型	実数
具体内容	カバーされる領域の最西端の座標を経度で表したもの。－180.0 < = 実数 < 180.0の範囲で記載する。		
記述方法	※メタデータ要素名称は、内容が無くても必ず記入すること。 「26.西側境界座標」		
例1	139.47		

No. 27	都市計画GISデータ要求度：	—	識別子： 10.12.01.02
大項目名称		カタログ情報	
中項目名称		地表の範囲－座標	
メタデータ要素名称		東側境界座標	
		eastbc	
定義	範囲の最東端の経度	最大記述回数	1
変域（値の候補または範囲）	－180.0 <= 東側境界座標 < 180.0 ただし全周をカバーする場合は、東側境界座標は180.0となる。	データ型	実数
具体内容	カバーされる領域の最東端の座標を経度で表したもの。－180.0 < = 実数 < 180.0の範囲で記載する。		
記述方法	※メタデータ要素名称は、内容が無くても必ず記入すること。 「27.東側境界座標」		
例1	140.00		

No. 28	都市計画GISデータ要求度：	—	識別子： 10.12.01.03
大項目名称		カタログ情報	
中項目名称		地表の範囲－座標	
メタデータ要素名称		北側境界座標	
		northbc	
定義	範囲の最北端の緯度	最大記述回数	1
変域（値の候補または範囲）	－90.0 <= 北側境界座標 <= 90.0 ただし北側境界座標 >= 南側境界座標	データ型	実数
具体内容	カバーされる領域の最北端の座標を緯度で表したもの。－90.0 < = 実数 < 90.0の範囲で記載する。		
記述方法	※メタデータ要素名称は、内容が無くても必ず記入すること。 「28.北側境界座標」		
例1	36.42		

No. 29	都市計画GISデータ要求度：	—	識別子： 10.12.01.04
大項目名称		カタログ情報	
中項目名称		地表の範囲－座標	
メタデータ要素名称		南側境界座標	
		southbc	
定義	範囲の最南端の緯度	最大記述回数	1
変域（値の候補または範囲）	－90.0 <= 南側境界座標 <= 90.0 ただし南側境界座標 <= 北側境界座標	データ型	実数
具体内容	カバーされる領域の最南端の座標を緯度で表したもの。－90.0 < = 実数 < 90.0の範囲で記載する。		
記述方法	※メタデータ要素名称は、内容が無くても必ず記入すること。 「29.南側境界座標」		
例1	36.27		

No. 30	都市計画GISデータ要求度：	M	識別子： 10.12.02.01
大項目名称		カタログ情報	
中項目名称		データセットの範囲	
メタデータ要素名称		地表の範囲－名称	
		geo_name	
定義	名称で表した範囲	最大記述回数	1
変域（値の候補または範囲）	自由記述	データ型	文字列
具体内容	整備したデータの範囲や領域の名称を記載する。例えばある範囲の全域の場合は『○○○全域』と記入し、一部の場合は、図郭名称・地域名称・都市計画区域名称・事業名称などを記入する。		
記述方法	※メタデータ要素名称は、内容が無くても必ず記入すること。 「30.地表の範囲－名称」		
例1	宇都宮市都市計画区域全域		
例2	札幌市（市街化区域及び市街化調整区域の一部）		

No. 33	都市計画GISデータ要求度： O		識別子： 10.12.03.02.02
大項目名称	カタログ情報		
中項目名称	データセットの範囲		
メタデータ要素名称	最小標高値		
	min_elev		
定義	データセット中の最小標高値	最大記述回数	1
変域（値の候補または範囲）	整数	データ型	整数
具体内容	データに含まれる最も低い標高を整数で記載する。単位はメートル。		
記述方法	※メタデータ要素名称は、内容が無くても必ず記入すること。 「33.最小標高値」		
例1	100		

No. 34	都市計画GISデータ要求度： O		識別子： 10.12.03.02.03
大項目名称	カタログ情報		
中項目名称	データセットの範囲		
メタデータ要素名称	最大標高値		
	max_elev		
定義	データセット中の最大標高値	最大記述回数	1
変域（値の候補または範囲）	整数	データ型	整数
具体内容	データに含まれる最も高い標高を整数で記載する。単位はメートル。		
記述方法	※メタデータ要素名称は、内容が無くても必ず記入すること。 「34.最大標高値」		
例1	800		

No. 31	都市計画GISデータ要求度： M	識別子： 10.12.02.02
大項目名称	カタログ情報	
中項目名称	データセットの範囲	
メタデータ要素名称	地表の範囲名称参照	
	geo_name_ref	
定義	範囲名称の内容を表してある参照物	最大記述回数 1
変域（値の候補または範囲）	自由記述	データ型 文字列
具体内容	メタデータ要素№30地表の範囲名称に記述した内容が何かの参照に基づく場合は、参照した資料名称（地名辞典など）等の説明を記載する。	
記述方法	※メタデータ要素名称は、内容が無くても必ず記入すること。 「31.地表の範囲名称参照」	
例1	—（市全域のため特に記載なし）	
例2	国土基本図図郭割	

No. 32	都市計画GISデータ要求度： M	識別子： 10.12.03.03.01
大項目名称	カタログ情報	
中項目名称	データセットの範囲	
メタデータ要素名称	時間的範囲の日時	
	time_extent	
定義	データセットの内容についての日時	最大記述回数 1
変域（値の候補または範囲）	(ISO 15046－8を参照)	データ型 日付
具体内容	整備したデータの内容に対する時点を記載する。都市計画情報の場合は、告示日など。ISO15046－8に基づき、西暦4桁、月2桁、日2桁で日付を記載する。	
記述方法	※メタデータ要素名称は、内容が無くても必ず記入すること。 「32.時間的範囲の日時」	
例1	20000310	
例2	20010331	

No. 35	都市計画GISデータ要求度： M	識別子： 10.13
大項目名称	カタログ情報	
中項目名称	—	
メタデータ要素名称	解像度コード	
	resolution_code	

定義	データの密度を表す情報	最大記述回数	N
変域（値の候補または範囲）	以下コード表有り	データ型	整数
具体内容	空間データの縮尺精度もしくは密度を以下のコードで記入する。都市計画情報の品質クラスは、それぞれ以下のコードに相当する。		
記述方法	※メタデータ要素名称は、内容が無くても必ず記入すること。 「35.解像度コード」		
例1	6		

変域（値の候補または範囲）			コード
	＜縮尺精度＞	＜都市計画情報の品質クラス＞	
	1：1，000，000以下	E	0
	1：200，000～1：999，999		1
	1：50，000～1：199，999		2
	1：25，000～1：49，999	D	3
	1：10，000～1：24，999	C	4
	1：5，000～1：9，999	B－2	5
	1：2，500～1：4，999	B－1，A－3	6
	1：1，000～1：2，499	A－2	7
	1：500～1：999	A－1	8
	1：500より大		9

No. 36	都市計画GISデータ要求度： M		識別子： 10.01
大項目名称	カタログ情報		
中項目名称	—		
メタデータ要素名称	データセット言語コード		
	lang_data_code		
定義	データセットの言語コード	最大記述回数	N
変域（値の候補または範囲）	(ISO 639を参照)	データ型	文字列
具体内容	ISO639に基づき、データに使用される言語コードを記載する。日本語の場合は『Ja』と記載する。		
記述方法	※メタデータ要素名称は、内容が無くても必ず記入すること。 「36.データセット言語コード」		
例1	Ja		

No. 37	都市計画GISデータ要求度：C（ISO8859−1以外）		識別子： 10.02
大項目名称	カタログ情報		
中項目名称	—		
メタデータ要素名称	データセットの文字符号集合		
	data_charset		
定義	データセットの文字コード	最大記述回数	1
変域（値の候補または範囲）	自由記述	データ型	文字列
具体内容	データに使用されている文字コード（ISO8859－1以外）を1つ記載する。例えば『Shift_jis』『EUC』など。		
記述方法	※メタデータ要素名称は、内容が無くても必ず記入すること。 「37.データセットの文字符号集合」		
例1	Shift_jis		

No. 38	都市計画GISデータ要求度： M	識別子： 10.03
大項目名称	カタログ情報	
中項目名称	—	
メタデータ要素名称	要約	
	abstract	

定義	データセットの簡潔な要約	最大記述回数	1
変域（値の候補または範囲）	自由記述	データ型	文字列
具体内容	整備したデータの内容の概略を記載する。例えば、どの様な過程でデータを作成したなど。		
記述方法	※メタデータ要素名称は、内容が無くても必ず記入すること。 「38.要約」		
例1	宇都宮市都市計画道路図を基に、以下の※印の要素をデジタイザを用いて数値化したデータ（注記以外は全てポリゴン（面）図形とし属性を付加）。※用途地域（属性：建蔽率・容積率・用途種別）※防火、準防火地域※都市計画道路（属性：都決番号、路線名称、代表幅員）※都市計画道路に付属する取得項目（道路中心線・幅員・カーブ回転半径・路線の起終点）※風致地区（属性：名称・面積・都決年月日）・建蔽率・建物の高さ（制限））※地区計画区域（属性：名称・位置・都決年月日・面積・概要・施設・建築物に関する事項）※土地区画整理事業地区（属性：名称・施工年度・面積・許認可年月日・換地処分年月日・総事業費・都決年月日）※都市計画公園（属性：名称・位置・面積・決定年月日）※その他、処理場・ポンプ場・火葬場・墓園・と畜場・ごみ焼却場等・注記（用途名称・都市計画道路名称・カーブ回転半径注記）また、数値化したデータを地形のDM（最新版）と整合性を取りながら作成したデータ。		
例2	札幌圏都市計画用途地域（札幌市分)を，札幌市現況図DMデータと重なるようにベクトル形式で数値化したものである。		

No. 39	都市計画GISデータ要求度： M	識別子： 10.04
大項目名称	カタログ情報	
中項目名称	—	
メタデータ要素名称	目的	
	purpose	

定義	データセットの作成目的	最大記述回数	1
変域（値の候補または範囲）	自由記述	データ型	文字列
具体内容	データが作成された目的をできる限り詳細に記載する。		
記述方法	※メタデータ要素名称は、内容が無くても必ず記入すること。 「39.目的」		
例1	都市計画及びその他諸計画の基礎資料として宇都宮市域の状況を把握するために整備した。また、平成9年度より整備しているディジタルマッピング手法によるディジタル地形情報をより有効に活用し、高度な情報処理と情報の共有化を行うために、庁内LANを活用して、他部署へディジタル地形情報を普及することを目的とする。		
例2	札幌市地理情報システム(GIS)の共有データベースとして作成された成果をシステムに格納するものである。		

No. 40	都市計画GISデータ要求度： M		識別子： 10.11.01
大項目名称	カタログ情報		
中項目名称	—		
メタデータ要素名称	進捗状況コード		
	progress_code		
定義	データセットの作成状況コード	最大記述回数	1
変域（値の候補または範囲）	以下コード表有り	データ型	整数
具体内容	データの整備状況を以下のコードで記載する。		
記述方法	※メタデータ要素名称は、内容が無くても必ず記入すること。		
	「40.進捗状況コード」		
例1	1		
例2	2		

変域（値の候補または範囲）	コード
完成	1
作成中	2
計画中	3
要求有り	4
進行中	5
歴史的保管	6
廃止	7

No. 41	都市計画GISデータ要求度： M		識別子： 10.14
大項目名称	カタログ情報		
中項目名称	分類		
メタデータ要素名称	分類		
	category		
定義	データセットの内容の分類（中項目）	最大記述回数	1
変域（値の候補または範囲）	No43－47を包括	データ型	—
具体内容	データの内容を要約した単語または文をまとめた中項目である。メタデータ要素No.42～No.46を包括する。		
記述方法	※メタデータ要素名称は、内容が無くても必ず記入すること。		
	「41.分類」 ※この要素は、他の要素を包括する項目であるため、特に例示は無い。		

No. 42	都市計画GISデータ要求度： M	識別子： 10.14.01
大項目名称	カタログ情報	
中項目名称	分類	
メタデータ要素名称	主題コード	
	theme_code	

定義	データセットの主題コード	最大記述回数	N
変域（値の候補または範囲）	以下コード表有り	データ型	整数
具体内容	整備するデータの重複が無い様にデータを検索するための識別コードを以下より選択し記載する。都市計画決定情報の場合『16』に相当し、都市計画図基図作成を含む場合は『3』を記載する。		
記述方法	※メタデータ要素名称は、内容が無くても必ず記入すること。 「42.主題コード」		
例1	16		

変域（値の候補または範囲）		コード		コード
	地籍	1	植物	11
	文化と人口統計学	2	低温分野	12
	地形	3	水門	13
	環境	4	環境監視	14
	測地管理	5	湿地	15
	運輸通信	6	土地利用	16
	光・熱／画像	7	海洋学	17
	生物化学	8	モデリング及びシミュレーション	18
	土壌	9	施設	19
	国境	10	地質	20

No. 43	都市計画GISデータ要求度： O		識別子： 10.14.02
大項目名称	カタログ情報		
中項目名称	キーワード情報		
メタデータ要素名称	キーワード情報		
	keyword_info		
定義	キーワードの情報（中項目）	最大記述回数	N
変域（値の候補または範囲）	No45－47を包括	データ型	—
具体内容	データの内容のキーワードとその型および参照情報源をまとめた中項目。メタデータ要素No.44～No.46を包括する。		
記述方法	※メタデータ要素名称は、内容が無くても必ず記入すること。 「43.キーワード情報」 ※この要素は、他の要素を包括する項目であるため、特に例示は無い。		

No. 44	都市計画GISデータ要求度： O		識別子： 10.14.02.01
大項目名称	カタログ情報		
中項目名称	キーワード情報		
メタデータ要素名称	キーワード		
	keywords		
定義	データセットの内容のキーワード	最大記述回数	1
変域（値の候補または範囲）	自由記述	データ型	文字列
具体内容	データの内容を説明するのに一般的に使われる単語または文を記載する。		
記述方法	※メタデータ要素名称は、内容が無くても必ず記入すること。 「44.キーワード」 例1 都市計画決定 例2 札幌		

No. 45	都市計画GISデータ要求度： O	識別子： 10.14.02.02
大項目名称	カタログ情報	
中項目名称	キーワード情報	
メタデータ要素名称	キーワードタイプコード	
	keyword_type_code	

定義	キーワードの区分コード	最大記述回数	1
変域（値の候補または範囲）	以下コード表有り	データ型	整数
具体内容	同じようなキーワードをグループ化するために、識別するためのコードを以下より選択し記載する。		
記述方法	※メタデータ要素名称は、内容が無くても必ず記入すること。 「45.キーワードタイプコード」		
例1	4		
例2	3		

変域（値の候補または範囲）	コード
時間的な	1
主題	2
場所	3
階層	4
分野	5

No. 46	都市計画GISデータ要求度： O	識別子： 10.14.02.03
大項目名称	カタログ情報	
中項目名称	キーワード情報	
メタデータ要素名称	キーワードのシソーラス名	
	keyword_thesaurus	

定義	キーワードの説明文等	最大記述回数	1
変域（値の候補または範囲）	自由記述	データ型	文字列
具体内容	キーワードの単語または文が掲載されている、正式に登録された辞書または準公的な情報源の名称を記載する。		
記述方法	※メタデータ要素名称は、内容が無くても必ず記入すること。 「46.キーワードのシソーラス名」		
例1	都市計画法		

No. 47	都市計画GISデータ要求度： O		識別子： 10.18.02.01
大項目名称	カタログ情報		
中項目名称	—		
メタデータ要素名称	アクセスの制約		
	access_constraints		
定義	データセットへのアクセスの制約	最大記述回数	1
変域（値の候補または範囲）	自由記述	データ型	文字列
具体内容	プライバシーや知的所有権保護のためのアクセス制約と、データを得るにあたっての特別な制限や限度が有れば、その旨を記載する。無ければ『無し』と記載する。		
記述方法	※メタデータ要素名称は、内容が無くても必ず記入すること。 「47.アクセスの制約」		
例1	特になし		

No. 48	都市計画GISデータ要求度： M		識別子： 10.18.02.02
大項目名称	カタログ情報		
中項目名称	—		
メタデータ要素名称	使用の制約		
	use_constraints		
定義	データセットの使用の制約	最大記述回数	1
変域（値の候補または範囲）	自由記述	データ型	文字列
具体内容	プライバシーや知的所有権保護のための制約と、データの利用にあたっての特別な制限や限度が有れば、その旨を記載する。例えば『著作権』『使用許諾』『非営利』『商標』など。無ければ『無し』と記載する。		
記述方法	※メタデータ要素名称は、内容が無くても必ず記入すること。 「48.使用の制約」		
例1	詳細な確認は、必ず都市計画課窓口にて行うこと。営利目的の使用は禁止する。		
例2	札幌市各部局GISでの利用を原則とする。		

No. 49	都市計画GISデータ要求度： M	識別子： 30.02.04.01
大項目名称	カタログ情報	
中項目名称	—	
メタデータ要素名称	系譜の補足情報	
	lineage_statement	
定義	系譜に関する他の情報	最大記述回数 1
変域（値の候補または範囲）	「不明」自由な記述	データ型 文字列
具体内容	データ作成に使用した基情報について記載する。判らない場合は『不明』と記載する。	
記述方法	※メタデータ要素名称は、内容が無くても必ず記入すること。 「49.系譜の補足情報」	
例1	宇都宮市都市計画道路計画図（縮尺：1/2,500）、道路台帳付図、公園台帳図、その他、宇都宮市職員が作成した地区計画区域、土地区画整理区域等を示した1/2,500レベルの詳細図を基に作成	
例2	平成10年3月31日に告示された札幌圏都市計画用途地域の変更の計画図を基に作成している。	

No. 50	都市計画GISデータ要求度： M	識別子： 20.01.04.02.01
大項目名称	カタログ情報	
中項目名称	—	
メタデータ要素名称	定性的な叙述報告	
	quality_narrative	
定義	定性的な品質情報の説明	最大記述回数 1
変域（値の候補または範囲）	自由記述	データ型 文字列
具体内容	報告の種類に即した、定性的な品質情報の具体的な説明を記載する。都市計画情報の場合、品質クラスは必ず明記する。判らない場合は『不明』と記載する。	
記述方法	※メタデータ要素名称は、内容が無くても必ず記入すること。 「50.定性的な叙述報告」	
例1	都市計画情報の品質クラスA－3に該当する。品質検査を全て実施し適合した。	
例2	都市計画情報の品質クラスBに該当する。	

No. 51	都市計画GISデータ要求度： M	識別子： 40.01
大項目名称	カタログ情報	
中項目名称	—	
メタデータ要素名称	空間表現型コード	
	spatial_rep_type_code	

定義	データのタイプ	最大記述回数	N
変域（値の候補または範囲）	以下コード表有り	データ型	整数
具体内容	整備したデータのタイプを以下のコードより選択し記載する。		
記述方法	※メタデータ要素名称は、内容が無くても必ず記入すること。 「51.空間表現型コード」		
例1	2		

変域（値の候補または範囲）	コード
テキスト	1
ベクトル	2
ラベル	3
画像	4

No. 52	都市計画GISデータ要求度： M	識別子： 50.02.01
大項目名称	カタログ情報	
中項目名称	—	
メタデータ要素名称	空間参照系型	
	spatial_reference_code	

定義	位置を表す方法	最大記述回数	1
変域（値の候補または範囲）	以下コード表有り	データ型	整数
具体内容	データの位置を定めるのに使われる参照系について以下のコードより選択し記載する。		
記述方法	※メタデータ要素名称は、内容が無くても必ず記入すること。 「52.空間参照系型」		
例1	2		

変域（値の候補または範囲）	コード
地理的識別子	1
座標	2

No. 53	都市計画GISデータ要求度： O		識別子： 70.01.02
大項目名称	カタログ情報		
中項目名称	—		
メタデータ要素名称	配布データ識別子		
	distrib_id		
定義	配布者のための識別情報	最大記述回数	N
変域（値の候補または範囲）	自由記述	データ型	文字列
具体内容	配布者がデータを確認するための識別子。例えば『***2500.shp』など。		
記述方法	※メタデータ要素名称は、内容が無くても必ず記入すること。 「53.配布データ識別子」		
例1	Utsu_yoto000401.shp ※ここでは、以下のルールでファイル識別名を決めている。 < Utsu：宇都宮、yoto：用途地域 、000401：西暦2000年4月1日にデータ利用可能 >		

No. 54	都市計画GISデータ要求度： M		識別子： 70.02.01
大項目名称	カタログ情報		
中項目名称	—		
メタデータ要素名称	フォーマット名		
	format_name		
定義	配布データのフォーマット名	最大記述回数	N
変域（値の候補または範囲）	自由記述	データ型	文字列
具体内容	具体的なデータのフォーマットを記載する。例えば『DXF』『ARC/INFOカバレッジ』といったデータの名前。		
記述方法	※メタデータ要素名称は、内容が無くても必ず記入すること。 「54.フォーマット名」		
例1	ARC/INFOカバレッジ（Ver7以上）		
例2	札幌市空間データフォーマット（札幌市独自形式）		

No. 55	都市計画GISデータ要求度： O	識別子： 70.02.10.02
大項目名称	カタログ情報	
中項目名称	—	
メタデータ要素名称	配布に使用するメディア	
	media	
定義	配布データを格納する媒体	最大記述回数 N
変域（値の候補または範囲）	自由記述	データ型 文字列
具体内容	配付者がデータを配付する際、データ受取者がデータを格納する媒体の名前を記載する。例えば『CD－ROM』『3.5インチフロッピーディスク』『5.125インチフロッピーディスク』『9トラックテープ』『4ミリカートリッジテープ』『8ミリカートリッジテープ』『1/4インチカートリッジテープ』『オンライン』『衛星回線』『電話接続』『パンフレット』など。	
記述方法	※メタデータ要素名称は、内容が無くても必ず記入すること。 「55.配布に使用するメディア」	
例1	未定	
例2	CD－ROMまたはMO	

No. 56	都市計画GISデータ要求度： O	識別子： 70.02.10.05.01
大項目名称	カタログ情報	
中項目名称	—	
メタデータ要素名称	配布データのオンライン情報源のURL	
	distrib_resource_url	
定義	配布データに関するURL	最大記述回数 N
変域（値の候補または範囲）	（IETF RFC1738 と IETF RFC2056参照）	データ型 文字列
具体内容	IETF RFC1738 と IETF RFC2056参照し、配付データの情報源にアクセスするためのURL（Uniform Resource Locater：統一された情報資源の形式と場所に関する表記法。インターネット上のアドレス。）を記載する。	
記述方法	※メタデータ要素名称は、内容が無くても必ず記入すること。 「56.配布データのオンライン情報源のURL」	
例1	http://www.city.utsunomiya.tochigi.jp/plaza/index.html ※実際公開をしている訳ではない。	

No. 57	都市計画GISデータ要求度： M	識別子： 80.06.03
大項目名称	カタログ情報	
中項目名称	—	
メタデータ要素名称	適合レベルのコード	
	conform_level_code	
定義	メタデータのレベル	最大記述回数 1
変域（値の候補または範囲）	以下コード表有り	データ型 整数
具体内容	メタデータにおける適合レベルのコードを以下より選択し記載する。	
記述方法	※メタデータ要素名称は、内容が無くても必ず記入すること。 「57.適合レベルのコード」	
例1	1	

変域（値の候補または範囲）	コード
適合性レベル1	1
適合性レベル2	2

No. 58	都市計画GISデータ要求度： M	識別子： 80.08.01
大項目名称	カタログ情報	
中項目名称	—	
メタデータ要素名称	メタデータコードの言語	
	lang_meta_code	
定義	メタデータの言語コード	最大記述回数 1
変域（値の候補または範囲）	ISO 639を参照	データ型 文字列
具体内容	ISO639に基づき、本メタデータに使用される言語コードを記載する。日本語の場合は『Ja』と記載する。	
記述方法	※メタデータ要素名称は、内容が無くても必ず記入すること。 「58.メタデータコードの言語」	
例1	Ja	

No. 59	都市計画GISデータ要求度：C（ISO8859−1以外）	識別子： 80.08.02
大項目名称	カタログ情報	
中項目名称	—	
メタデータ要素名称	メタデータ文字コードセット	
	meta_charset	

定義	メタデータの文字コード	最大記述回数	1
変域（値の候補または範囲）	自由記述	データ型	文字列
具体内容	本メタデータに使用されている文字コード（ISO8859－1以外）を1つ記載する。例えば『Shift_jis』『EUC』など。		
記述方法	※メタデータ要素名称は、内容が無くても必ず記入すること。 「59.メタデータ文字コードセット」		
例1	Shift_jis		

No. 60	都市計画GISデータ要求度： M	識別子： 80.04.01
大項目名称	カタログ情報	
中項目名称	—	
メタデータ要素名称	メタデータの日付	
	meta_date	

定義	メタデータの作成（更新）日	最大記述回数	1
変域（値の候補または範囲）	ISO 15046－8を参照	データ型	日付
具体内容	メタデータが作成された日付、または最近メタデータが変更された日付を記載する。ISO15046－8に基づき、西暦4桁、月2桁、日2桁で日付を記載する。		
記述方法	※メタデータ要素名称は、内容が無くても必ず記入すること 「60.メタデータの日付」		
例1	20000615		
例2	20003013		